授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	後期
	倫理的態度と看護		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

人間関係が成立できるとともに、専門職業人として倫理的態度がとれる

[授業内容の流れ]

医療技術の発達、患者の権利意識の高まりなどに伴って、われわれは今、従来の生命観や価値観を問い直すことを余儀なくされている。つまり、技術的に可能なこと（できること）と倫理的に容認されること（すべきこと・してもよいこと）との間にどのような折り合いをつければよいのか、患者と医療者との望ましい関係はいかなるものか、等々の問題が今日、問われている。
本講義は現代医療をめぐる倫理的諸問題を概観しながら医療とは何か、またどうあるべきかを考えていく。

1	倫理学と医療倫理学
2	人間の尊厳と医療
3	インフォームドコンセント
4	患者の権利
5	守秘義務
6	医療におけるナラティブ
7	生殖医療の倫理的諸問題（1）－社会問題としての不妊―
8	生殖医療の倫理的諸問題（2）－人口受精と体外受精―
9	生殖医療の倫理的諸問題（3）－代理出産―
10	生殖医療の倫理的諸問題（4）－出生前診断―
11	移植医療の倫理的諸問題（1）－脳死―
12	移植医療の倫理的諸問題（2）－臓器移植―
13	終末期医療の倫理的諸問題（1）－人生の最後段階における医療ケアー
14	終末期医療の倫理的諸問題（2）－緩和ケアー
15	終講試験

〈評価の方法〉
期末テスト、平常点（提出物等）で評価する

受講上の注意：
明確な問題意識をもって講義に取り組み疑問点は積極的に質問して下さい。

[使用テキスト・参考文献等]

教養としての生命倫理　　丸善出版

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	後期
	論理的思考と看護		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

正しい思考の形式と法則とを学び、論理的思考、文章表現力を育て論評文が書ける

[授業内容・授業の流れ]

1	論理的な文章とはどういうものか
2	用紙の使い方、記号の使い方/文章作成
3	語について（1）
4	語について（2）
5	文について（1）
6	文について（2）
7	文について（3）/文章作成
8	文と文の関係（1）
9	文と文の関係（2）
10	論証（1）：論証とはどのようなものか
11	論証（2）：隠れた前提
12	論証（3）：代替仮説の検討
13	文章全体の構成（1）/文章作成
14	文章全体の構成（2）
15	筆記試験

〈評価の方法〉

最終回に筆記試験を行いその内容と形式を評価します。

受講上の注意：

授業では何回か作文をしてもらいます。
それを講師が添削しお返しします。
これを繰り返すことで論文作成の仕方を学びます。

[使用テキスト・参考文献等]

ナースのための実践論文講座　松葉　人文書院

授　業　内　容（シラバス）　　2020年度（ 22期生 2年生 ）

授業科目	[基礎分野]	講師名	外部講師	授業形態	講義	時期	前期
	情報と看護		実務経験有			単位数（時間数）	2（45）

[授業目標]
情報技術の急速な進歩に対応できるよう情報伝達、処理、貯蔵など理解するとともにコンピュータの基本操作ができる。
統計学の基本と基本的情報処理の方法について学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

講義およびパソコンを使用した演習により、統計学の基本と基本的情報処理の方法を学ぶ。
下記、授業スケジュールのテーマに沿って、基本的には、講義、演習、解説、復習の流れで授業を進める。
コンピュータの基本操作では、単なる操作法だけでなく、実践の場で重要な、より正確に、より伝わる文書を、より早く作成するポイントについても解説し、実習で確認する。
また、情報技術の急速な進歩に対応できるよう、演習では、事前に解説していない内容を含む応用課題にも取り組み、適切な情報を探し活用する方法も学ぶ。

＜授業スケジュール＞
第 1週　授業の進め方、コンピュータ概論、情報セキュリティと情報モラル
　　(Word) 文字入力とファイル管理
第 2週　(Word) 基本的な文書の作成、ビジネス文書の作成
第 3週　(Word) 表の作成、図形とイラストの挿入
第 4週　(Excel) 集計表の作成、関数を使った表作成（合計、平均、最大、最小、件数）
第 5週　(Excel) 関数を使った表作成（順位、IF関数）、データの活用（VLOOKUP関数）
第 6週　(Excel) 統計処理（統計処理とは、確率、誤差、母集団、標本）
第 7週　(Excel) 統計処理（分散と標準偏差、偏差値）、データとグラフ（ヒストグラム）
第 8週　(Excel) 統計処理（相関係数、回帰直線）、データとグラフ（散布図）
第 9週　(Excel) 統計処理（仮説検定）
第10週　(PowerPoint) プレゼンテーションの作成
第11週　(PowerPoint) プレゼンテーションのデザイン
第12週　まとめ、試験

＜評価の方法＞
定期試験および授業や課題への取組み姿勢により総合的に評価します。

受講上の注意：
教室で受講される際は、講義中にパソコンで作成したファイルを保存するため、各自USBメモリ（Type-A）を持参してください。
（スマホ用やType-Cと書かれているものは使えません）

[使用テキスト・参考文献等]
医療従事者のための情報リテラシー　　日経BP社

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	前期
	発達心理学		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．人間の行動を総括的に捉え、更に「身体的・社会的・精神的」な影響を学ぶ

[授業内容・授業の流れ]

1	オリエンテーション
2	乳児期①
3	乳児期②
4	幼児期前期
5	幼児期後期
6	学童期①
7	学童期②
8	思春期①
9	思春期②
10	青年期
11	成人前期
12	成人中期・成熟期
13	成人後期
14	まとめ
15	終講試験

〈評価の方法〉	受講上の注意：
授業内レポートと 終講試験	毎回授業開始時に、復習レポートを書いてもらいます。 （150字程度）

[使用テキスト・参考文献等]

生涯人間発達論　服部祥子　　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	後期
	臨床心理学		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．人間の行動を総括的に捉え、更に「身体的・社会的・精神的」な影響を学ぶ

[授業内容・授業の流れ]

1	傾聴ワーク
2	臨床心理学の歴史
3	認知機能・記憶　動機・意欲　学習
4	愛着と喪失　　精神分析について
5	心理テスト　　質問紙法
6	心理テスト　　投影法（描画）
7	依存症
8	うつ・不安・強迫症・セルフケア
9	認知療法①　行動活性化法
10	認知療法②　認知再構成
11	発達の領域とその障害
12	発達の領域とその障害
13	統合失調症
14	倫理　　心理療法に求められるもの
15	まとめ、終了試験

〈評価の方法〉

授業中の課題

定期試験

受講上の注意：

自分自身のメンタルケア　　他者への理解と援助について

学んで実践して下さい

[使用テキスト・参考文献等]

なし

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	社会学		実務経験有			単位数（時間数）	2（45）

[授業目標]

1．個人が所属するあるいは新たに所属していこうとする社会の一員と認められるために、他の人々との相互作用を通して、その社会の価値観や規範・信念・言語・行動様式を学習し自己のパーソナリティを発達させていく過程を学ぶ。
2．社会環境、社会的資源、社会的欲求、社会的不利、社会病理など看護の視点から学ぶ
3．社会の動きのなかで物流・経済なども学ぶ

[授業内容・授業の流れ]

1	社会学の考え方と捉え方
2	社会学を学ぶことの意味
3	家族という集団
4	家族の役割構造
5	高齢社会の側面
6	社会化というプロセス
7	社会化をとらえる二つの視点
8	労働とは何か
9	都市という空間
10	都市と農村
11	規範と逸脱
12	宗教と人間
13	ジェンダーの概念
14	言葉とジェンダー
15	ライフコースに揺らぎをもたらす価値観
16	男女共同参画社会と性差
17	社会的行為とは何か
18	相互作用によって作られる人間関係
19	社会構造とは
20	集団と組織
21	未組織集団
22	物流と経済の仕組み
23	まとめ

〈評価の方法〉

① 授業参加度（発言シート）15%
② レポート等の提出物20%
③ 終講試験65%

以上の配分によって総合評価を行います。

受講上の注意：

私語は厳禁に致します。本講義ではすべての講義時間に発言や発表をもとめます。成績評価にかかわりますので講義初日に配布する「発言シート」を最終評価日に必ず提出して下さい。

「使用テキスト・参考文献など」

テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考文献：友枝敏雄　竹沢尚一郎　他著,「社会学のエッセンンス　新版」、有斐閣.
岩間暁子　大和礼子　他著、「問いからはじまる家族社会学」、有斐閣ストゥディア.

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	文化と生活		実務経験有			単位数（時間数）	1(30)

[授業目標]

1．人間の日常生活とその他の知的な営みを持つ意味を理解すると共に多角的なものの見方や考え方ができる。

[授業内容・授業の流れ]

1	イントロダクション－文化について考える
2	文化とは何か①－多様な人種/民族と文化
3	文化とは何か②－エスノグラフィーとフィールドワーク
4	社会と文化①－個人と家族
5	社会と文化②－コミュニティと現代の家族
6	通過儀礼①－誕生儀礼・成人儀礼
7	通過儀礼②－結婚
8	人間の死と弔い①－世界の葬送儀礼
9	人間の死と弔い②－弔いの文化
10	宗教と文化
11	日本の祭り
12	健康・医療と文化
13	身体・身ぶり・しぐさと文化
14	食と文化
15	まとめ（レポート提出予定）

〈評価の方法〉
受講態度40%＋期末課題60%をもとに総合的に評価する。

受講上の注意：
下記テキストを教科書として用いつつ、各回でレジュメを配布する。授業にあたっては自分の日常生活の中の「異文化」に目を凝らし、観察するようにして下さい。

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　　基礎分野　　文化人類学　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	運動と健康		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．身体の活動を通し、協調性、忍耐力を養うとともに心のゆとり豊かさを感受する。

[授業内容・授業の流れ]

1	ガイダンス　授業の進め方について説明しシラバスの内容を確認する
2	自己紹介（過去・現在の運動歴等について）「みんなの体操」実技練習
3	体力測定（文部科学省　新体力ﾃｽﾄ＋閉眼片足立ち）
4	チーム名発表　ビーチボール　バレーリーグ戦①
5	体力測定結果説明　ビーチボール　バレーリーグ戦②
6	ビーチボールバレーリーグ戦③
7	ビーチボールバレーリーグ戦④
8	ビーチボールバレーリーグ戦⑤
9	スポーツレクリエーションプログラミング①
10	スポーツレクリエーションプログラミング②
11	スポーツレクリエーションプログラミング③
12	スポーツレクリエーションプログラミング④
13	スポーツレクリエーションプログラミング⑤
14	スポーツレクリエーションプログラミング⑥
15	「みんなの体操」実技テスト　レポート

〈評価の方法〉	受講上の注意：
出席及び授業に対する積極性を重視する。「みんなの体操」の実技試験を実施する	スポーツ・レクリエーションの全般を実際に実施・体験することで指導に必要な知識を深めるだけでなく、自らの健康維持増進に努める

[使用テキスト・参考文献等]

テキストは使用しないので、計画・実施上必要な資料を作成すること

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	後期
	教育学		実務経験者			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

① 教育が文化・社会の動態と人間の成長・発達に影響を受け、人間が形成さあれることを理解すると共に生涯学習の必要性を理解する。
② 看護専門職の活動と教育専門職の活動とのかかわりについて理解する。
③ 基礎的・汎用的能力をはじめとした総合的な人間力を身につける。

[授業内容・授業の流れ]

日本の医療水準は、常に世界のトップレベルにある。これは、とりもなおさず学校教育制度の充実度と日本人が備えている勤勉さと豊かな精神性の証左である。

「看護」以前に、「看護」以外に知っておくべき、考えておくべき、学んでおくべき、身につけておくべき「基礎分野」がある。それは「基礎的・汎用的能力」をはじめとした総合的な「人間力」である。

本講義では、「教育学」の基礎理論をもとにして急激に変化し、複雑化・多様化する現代社会に対応すべく自ら学び、判断し、表現・行動する力、人権意識を高め、人や社会の様々な様相を把握し理解する力等の基礎形成を図る。また、あらゆる健康状態にある対象への看護の教育的関わりを学ぶことを通し、看護専門職を目指すための力量形成を図る。

第1週：ガイダンス　社会の中の看護と教育①	社会の中の教育と看護
第2週：教育学を学ぶために②	教育とは何か
第3週：教育学を学ぶために③	教育の対象
第4週：教育学を学ぶために④	社会変動と教育　教育の組織化
第5週：教育を成り立たせるもの①	教授
第6週：教育を成り立たせるもの②	訓育・養護
第7週：教育を成り立たせるもの③	発達
第8週：教育の営みを考える①	学びの場
第9週：教育の営みを考える②	教育の目標と評価
第10週：教育の営みを考える③	教育のメディア
第11週：教育の営みを考える④	教育の担い手
第12週：教育の営みを考える⑤	教育の場をつくるしくみ
第13週：現代教育の新たな課題①	キャリア教育　ジェンダーとセクシャリティ
第14週：現代教育の新たな課題②	特別ニーズ教育　インクルーシブ教育　生涯教育 シティズンシップ教育
第15週：まとめと単位認定試験	

〈評価の方法〉
筆記試験、課題レポート、授業への取り組み状況等をもとに、総合的に評価する

受講上の注意：
「教育学」を学ぶ意義と重要性について考えながら積極的な態度で受講すること

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　　基礎分野　　教育学　　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　基礎分野　　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期・後期
	英語		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

[授業目標]
臨床看護英語の学習を通して、医療現場における基礎的・基本的、実践的な英語活用能力を身につける。

[授業内容・授業の流れ]

1	Chapter1　患者を迎える
2	病院内施設・病院内備品
3	Chapter2　バイタルサイン測定
4	機器類、看護物品、脈拍測定部位
5	Chapter3　痛みのアセスメント
6	痛みの表現、問診、体の部位
7	Chapter4　症状
8	様々な症状、検査項目
9	Chapter5　体位変換　移乗
10	体位の動きの表現　歩行補助機器
11	Chapter6　診療科目
12	診療科と専門医　人体器官系
13	Chapter7　医学英語の構造
14	前期の復習　（人体器官　小テスト）
15	Chater8　日常生活援助
16	身だしなみ用具　専門家との連携
17	Chaptr9　与薬
18	薬剤の種類　投薬指示の表現
19	Chapter10　排泄（排便・排尿）
20	排泄の表現　仕組み　関連語句
21	Chapter11　慢性疾患
22	患者情報収集　慢性疾患
23	Chapter12　急性期/手術室
24	周手術期看護　集中治療室用語
25	Chapter13　妊婦健診
26	陣痛と出産　産科用具
27	Chapter14　医学英文読解
28	後期の復習　（専門医療機関　小テスト）
29	年間の総復習
30	終試試験　解説

〈評価の方法〉
終講試験（学年末）　60%
小テスト　30%
授業態度・姿勢　10%

受講上の注意：
コミュニケーション・ツールとしての英語活用能力向上を図るため、看護・医療の専門語句や表現は何度も声に出して学習して下さい。
日常の医療現場で生かせる英語力を身につけましょう。

[使用テキスト・参考文献]
Talking with your patients in English（アニメで学ぶ看護英語）（株）成美堂　発刊

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期・後期
	解剖学		実務経験			単位数（時間数）	2（60）

[授業目標]
人体の発生・構成について学ぶことを通してその働きを理解する力を養う。
また、人体を構成している骨格、筋、臓器の位置、構造を理解する。
そして各組織・器官が統合して人体の生命が営まれていることを学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

1	解剖学の概観、解剖学的用語	16	血液・造血器系
2	解剖学のための基礎知識	17	血液・造血器系
3	運動器系	18	脳神経系
4	運動器系	19	脳神経系
5	運動器系	20	脳神経系
6	循環器系	21	内分泌系
7	循環器系	22	内分泌系
8	循環器系	23	腎・泌尿器系
9	呼吸器系	24	腎・泌尿器系
10	呼吸器系	25	感覚器系
11	消化器系	26	感覚器系
12	消化器系	27	生殖器系
13	消化器系	28	生殖器系
14	消化器系	29	まとめ
15	代謝系	30	終講試験

〈評価の方法〉
・授業態度（小テスト）
・終講試験

〈受講上の注意〉
この授業では個人ワークやグループワークをとり入れる。
他者が発する情報をどのように受けとめ理解するか、
さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら
授業に臨んでほしい。

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　人体の構造と機能　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期・後期
	生理学		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

[授業目標]
生体が環境変化に応答し、適応する仕組みについて生理学的に学ぶ

[授業内容・授業の流れ]

1	人体の構成と生体物質
2	体液とホメオスタシス
3	消化と吸収
4	呼吸
5	血液と生体防御
6	心臓と血液循環　リンパの循環
7	ホメオスタシスとフィードバックシステム
8	腎臓と体液のバランス
9	ホルモンによる生体調節
10	経細胞と筋の特徴と機能
11	自律神経系による生体調節
12	感覚
13	脳と脊髄
14	反射と運動
15	生殖機能

〈評価の方法〉
中間テストと期末テストにより評価する

受講上の注意：
・教科書を使用するので前以て予習してくること
・わからないことは授業中に手を挙げて質問する
・パワーポイントを用いて教科書の内容をわかりやすく説明する
・毎回小テストを配布するので次の授業までに仕上げること（復習）

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　人体の構造と機能・解剖生理学　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	後期
	生化学		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

人間の生命現象を調節の取れた科学的な反応として理解させる。
人体の構成成分である化学物質の性状、その分布および代謝について学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

1	生体の成り立ちと生体成分
2	タンパク質の性質(1)
3	タンパク質の性質(2)
4	酵素の性質と働き
5	生体内における糖質の代謝(1)
6	生体内における糖質の代謝(2)
7	生体内における脂質の代謝(1)
8	生体内における脂質の代謝(2)
9	生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝(1)
10	生体内におけるアミノ酸およびタンパク質の代謝(2)
11	生体内における核酸の役割(1)
12	生体内における核酸の役割(2)
13	体液・ホルモン
14	ビタミン
15	遺伝子検査　　単位認定試験

〈評価の方法〉

章末　筆記試験　50%
単位認定試験　　50%

受講上の注意：

高校時代の生物と科学の知識を基礎として講義を進める
高校時代の生物と科学の教科書を十分復習しておくこと

[使用テキスト・参考文献等]

新体系看護学　わかりやすい生化学　　ヌーベルヒロカワ

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　　期	後期
	栄養学		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．生命の維持および健康の保持に重要な栄養素の働きとバランスを学ぶ。
2．生活習慣病、摂食障害など、現代の食生活のあり方を学ぶ。
3．チーム医療を基本とした栄養管理について学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

1	（第1章）　健康と栄養・・栄養とは？健康と栄養の関連性について 健康状態と栄養のアセスメント、自分の食生活の評価、食と文化	
2	（第2章）　日常生活と栄養・・日常生活における食事の意義 日本人の食事摂取基準　スポーツと栄養 （第３章）栄養指導・保健指導・・特定検診・特定保健指導とは	
3	（第4章）　食物と栄養・・栄養素とその働き ①　エネルギー（食事バランスガイドについて　他） ②　炭水化物　食物繊維について	
4	③　脂質と脂肪酸について（脂質異常症他）	
5	④タンパク質とアミノ酸について	
6	⑤　ビタミンの働き（欠乏症と過剰症）	
7	⑥　ミネラルの種類と働き（(主要無機質と微量無機質について）	
8	⑦　水分・電解質と酸塩基平衡について	
9	三大栄養素の代謝と消化吸収・ホルモンについて	
10	（第5章）　ライフステージと健康教育 ①　思春期・青年期の栄養（食生活の留意点など） ②　成人期栄養（成人期の食生活の特徴・・メタボリックシンドロームなど）	
11	テストと解説	
12	栄養・栄養管理	
13	病態別栄養管理	
14	栄養療法	
15	栄養サポートチーム	
16	レポート　解説	

〈評価の方法〉
テスト（70点満点）
NST（30点満点）

受講上の注意：
・毎回教科書を持参すること
・プリント類はファイルにして整理すること
・課題にはしっかり取り組むこと

[使用テキスト・参考文献等]
新体系看護学　わかりやすい栄養学　ヌーベルヒロカワ
系統看護学講座　　別巻　栄養食事療法　　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　　］	講師	外部講師	授業形態	講義	後期
	病態生理学		実務経験有			時間数　30時間

[授業目標]
疾病(病気)の分類、原因、成立ち、病変、経過などを学ぶことを通して疾病の概念(疾病とは何か？)を理解する。

[授業内容・授業の流れ]

病理学は疾病（病気）を理論的に体系づけた学問であり、具体的には疾病の原因本態経過、予後などについて考究する。
これは医学そのものであり、近代医学は病理を中心として発展してきた。
このうち特に疾病時にみられる臓器、組織、細胞などの形の変化（形態学的病変）を探求するのが狭い意味の病理学である。
このうち病理学総論は共通する病変を大きく６つに分け、それぞれの病変の意味、原因特徴などを系統学的に学ぶものであり、疾病の理解に重要な学問の一つである。
６つの病変とは、受身の病変(退行性病変)、進行性病変(活動性病変)、循環障害炎症、腫瘍、先天性疾患である。
本講義はこれらの病変について病理形態学を中心とした病理学総論である。

〈評価の方法〉	受講上の注意：
毎回小テスト(５０点)と 終講試験(５０点)の合計１００点	前もって教科書に目を通しておくと授業内容がわかりやすい

[使用テキスト・参考文献等]
わかりやすい病理学　　南江堂

授　業　内　容（シラバス）　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	前期
	微生物学		実務経験有			単位数（時間数	1（30）

[授業目標]

微生物の分類や特徴を知り、人間の疾患に関与する基礎的知識を習得する。
各種感染症の分類、感染防御、院内感染対策などの基礎的知識を学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

1	微生物概論　（細菌）
2	微生物概論　（真菌）
3	微生物概論　（原虫・ウイルス）
4	感染症の予防と治療
5	感染に対する生体防御機構1
6	感染に対する生体防御機構2
7	感染に対する生体防御機構3
8	細菌各論1
9	細菌各論2
10	細菌各論3
11	真菌各論
12	原虫各論
13	ウイルス各論1
14	ウイルス各論2
15	終講試験

〈評価の方法〉
試験

受講上の注意：

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　疾病の成り立ちと回復の促進　　微生物学　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時期	前期
	臨床薬理学		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

現在医学における薬物治療について知ることとあわせて、代表的な薬物の人体への作用の仕組み、特徴、副作用、薬物の取り扱いや管理について学ぶ。

[授業内容・授業の流れ]

1	薬理学総論Ⅰ（薬物による病気の治療、薬理学とはなにか、薬力学）
2	薬理学総論Ⅱ(薬物動態学、薬物相互作用)
3	薬理学総論Ⅲ(薬効に影響する因子、有益性と危険性、薬と法律)
4	抗感染症薬について
5	抗がん薬・免疫治療薬について
6	抗アレルギー薬・抗炎症薬について
7	末梢での神経活動に作用する薬物いついて
8	中枢神経系に作用する薬物について
9	循環器系に作用する薬物について (降圧薬・狭心症治療薬・心不全治療薬・抗不整脈薬)
10	循環器系に作用する薬物について (降圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬)
11	呼吸器、消化器、生殖器系に作用する薬物について
12	物質代謝に作用する薬物について
13	皮膚科用薬、眼科用薬、救急の際に使用される薬物について
14	漢方薬・消毒薬・輸液製剤・輸血剤について
15	終講試験・解説

授業の流れ

テキストにそってパワーポイントにて説明する。
また、理解度を確認するために宿題・小テストを行うこともある。

〈評価の方法〉
出席、講義中の態度、試験結果等を総合して評価する

受講上の注意：
事前学習
- 薬の名前や作用等覚える項目が多いため、予習・復習が大切である。
- 基礎的な事項は自分で確認する習慣をつけることが必要である。

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　専門基礎分野５　　疾病の成り立ちと回復の促進　薬理学
医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	後期
	疾病論Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】
1．消化器（内科）系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
2．循環器系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
3．呼吸器系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
4．腎泌尿器系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する

[授業内容･授業の流れ]

1	泌尿器の構造・機能・生理・検査	
2	腎・副腎の構造・機能・生理・検査	
3	泌尿器・腎・副腎疾患の代表的な疾患と手術	
4	食道・胃・十二指腸の解剖生理・疾患・治療	
5	肝臓の解剖生理・疾患・治療	
6	胆道・膵臓の解剖生理・疾患・治療	
7	大腸・小腸の解剖生理・疾患・治療	
8	呼吸器の構造と機能、呼吸器症状とその病態生理	
9	呼吸器疾患の検査と治療・処置	
10	呼吸器疾患の理解（感染症、間質性肺炎、気道疾患）	
11	呼吸器疾患の理解（肺循環疾患、肺腫瘍、胸膜・縦郭・横隔膜疾患）	
12	循環器の解剖と病態生理	
13	循環器診療の実際	
14	循環器疾患の理解	
15	循環器疾患のまとめ	

〈評価の方法〉
出席状況
授業中の態度
筆記試験

受講上の注意：
・予習として教科書を読んできてください
・復習をしてください

[使用テキスト･参考文献等]

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学②　呼吸器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学③　循環器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑤　消化器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑧　腎泌尿器　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	後期
	疾病論Ⅱ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】
1．消化器（外科）系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
2．運動器系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
3．リハビリテーションの基本概念・障害別リハビリテーションの実際について理解する

[授業内容･授業の流れ]

1	リハビリテーション概念について リハビリテーション医療について、廃用症候群へのアプローチ	
2	リハビリテーションの評価、生活行動の再獲得に向けた支援（呼吸・話す）	
3	生活行動の再獲得に向けた支援（食べる・動く）	
4	運動器の構造と機能	
5	骨折	
6	脱臼・神経靭帯損傷、先天性疾患	
7	炎症性疾患・代謝性疾患	
8	上肢・下肢・脊椎疾患	
9	運動器疾患の症状・診断・検査・治療	
10	消化器の構造と機能・症状と病態生理	
11	消化器の検査と治療	
12	胃・食道の疾患	
13	大腸の腫瘍性疾患	
14	大腸・小腸　肛門の良性腫瘍	
15	肝・胆・膵の疾患	

〈評価の方法〉
筆記試験

受講上の注意：
・教科書を読んできてください

[使用テキスト･参考文献等]

新体系　看護学全書（別巻）　リハビリテーション看護　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑤　消化器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑩　運動器　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	疾病論Ⅲ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】
1．感染症系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
2．アレルギー・膠原病の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
3．血液・造血器系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
4．内分泌系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
5．代謝系の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	血液の生理と造血の仕組み、検査・診断・治療、病態生理	
2	血球系の異常・出血性疾患	
3	造血器治療の基本理念、白血球系の疾患	
4	輸血、急性白血病と造血幹細胞移植	
5	感染症の基本、感染対策	
6	食中毒、HIV、性病	
7	アレルギーについて（アレルギーの仕組み・治療・主な症状と疾患の理解）	
8	膠原病について（検査・治療・主な疾患の理解）	
9	フィードバックについて、下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副腎ホルモン	
10	下垂体ホルモンの異常	
11	甲状腺ホルモン・副甲状腺ホルモンの異常	
12	副腎ホルモンの異常	
13	糖尿病、脂質異常症	
14	肥満、メタボリック	
15	脂質異常・糖尿病のまとめ、高尿酸血症	

〈評価の方法〉	受講上の注意：
筆記試験	・教科書を読んできてください

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学④　血液　造血器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑥　内分泌　代謝　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑪　アレルギー　膠原病　感染症　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	疾病論Ⅳ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
2．口腔外科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
3．脳神経外科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
4．神経内科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	皮膚の構造と機能　皮膚疾患の症状・検査・治療	
2	代表的な皮膚疾患	
3	耳鼻の構造と機能、耳鼻科疾患の症状・検査・治療	
4	咽頭・喉頭の構造と機能、咽頭・喉頭疾患の症状・検査・治療	
5	目の構造と機能、症状・検査・治療	
6	代表的な眼科疾患	
7	口腔の構造と機能、口腔疾患の症状・検査・治療	
8	代表的な口腔疾患	
9	脳神経機能と構造	
10	脳の解剖学的機能と症状の関連性（脳損傷の特徴含む）	
11	脳障害の症状（脳の自動調整・嚥下障害・発語・発声・言語障害・脳頭蓋内圧のコントロール	
12	脳出血性疾患・閉塞性疾患	
13	筋疾患、末梢神経疾患	
14	脳血管障害、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症　脊髄小脳変性症	
15	パーキンソン病	

〈評価の方法〉
筆記試験

受講上の注意：
・予習復習をしっかりしてください

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑦　脳神経　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑫　皮膚　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑬　眼科　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑭　耳鼻咽喉　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑮　歯・口腔　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	疾病論Ⅴ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】
1．　小児科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する
2．　産婦人科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	小児科総論、染色体異常・先天性異常	
2	小児科における感染症	
3	小児科における心臓、呼吸器疾患	
4	小児科における内分泌、代謝性疾患、血液疾患	
5	小児科における神経、筋疾患	
6	小児科における腫瘍、消化器疾患	
7	小児科における腎・泌尿器疾患、小児救急	
8	女性生殖器の構造と機能	
9	産婦人科における特徴的な症状とその病態	
10	産婦人科における診察・検査・処置・治療	
11	産婦人科における主な疾患の理解	
12	ハイリスク妊娠	
13	妊娠と胎児にみられる異常	
14	難産と帝王切開	
15	産褥の異常と新生児の異常	

〈評価の方法〉
筆記試験

受講上の注意：
・予習復習をしっかりしてください

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学②　小児臨床看護各論　医学書院

新体系　看護学全書　母性看護学②
マタニティサイクルにおける母子の健康と看護　　メヂカルフレンド社

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	疾病論Ⅵ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】
1．放射線を用いた検査、診断及び治療について理解する
2．精神科の代表的な疾患について必要な病態生理、症状、検査治療を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	放射線とは、画像診断の役割、放射線治療の役割、放射線医学の歴史	
2	核医学検査、ＩＶＲ・血管造影	
3	ＣＴ、ＭＲＩ	
4	超音波検査、放射線防御	
5	放射線治療	
6	精神医学総論	
7	統合失調症の概念、症状	
8	統合失調症の症状（ＤＶＤ）	
9	統合失調症の治療	
10	躁うつ病（多極性障害）の理解	
11	うつ病の理解	
12	神経症・人格障害・摂食障害	
13	認知症・知的障害	
14	依存症・症状精神病	
15	精神医学のまとめ	

〈評価の方法〉
筆記試験

受講上の注意：
・予習復習をしっかりしてください

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　別巻　医療放射線医学　　医学書院

新体系　看護学全書　精神看護学②
精神障害をもつ人の看護　　メヂカルフレンド社

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　　期	前期
	現代医療論		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．医学とは何か、医療とは何かを理解し、医療における看護の役割を把握し、看護師としての研鑽に繋げる

[授業内容・授業の流れ]

1	第1章 医学・医療のあゆみ	現代医療論を学ぶにあたって 人類の誕生と文化の発達
2		近代医学の基礎と発展 今後の医学・医療の方向
3	第3章 医学と医療	医学と医療の違い
4		医療の実践
5	第5章 現代医療における 諸問題	医療の進歩と医の倫理
6		医療における患者の権利
7		病状（真実）の告知
8		死と生命保持、安楽死、死を共有する医療
9		現代医療における諸問題のまとめ
10	第4章 わが国の医療提供体制	医療提供体制の現状と整備の経過
11		医療保障の現状と課題
12	現在の医療の問題 （仮題）	地域医療構想（続） 医師・医療従事者の働き方改革 医師の偏在対策
13		がん対策・ACP
14	講義の要点と出題形式	講義の要点
15	終講テスト	

〈評価の方法〉
・終講試験

受講上の注意：

[使用テキスト・参考文献等]
新体系　看護学全書
健康支援と社会保障制度①　現代医療論　　メヂカルフレン

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　　期	前期
	生活環境と健康		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．生活概念としての環境問題と健康問題をもとに、公衆衛生の歴史とその役割について考える。
2．疾病構造と健康問題、高齢化、情報化社会における健康対策とその視点について考える。
3．望ましい生活環境を構築するため、人間の存在に関わる健康の諸問題を自分の生活と関連付けて考える。また、日常生活の中で問題解決の方法を考える。

[授業内容・授業の流れ]

1	衛生環境の歴史と発達、健康の定義
2	公衆衛生と定義
3	健康・医療に関する法律と施策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策、診療記録
4	疫学の概念、疾病・死亡に関する指標、疫学の効果指標
5	疫学研究のデザイン、統計解析の基礎
6	検査の指標とスクリーニング
7	人口統計、疾病統計
8	医療法と医療対策、死亡とは
9	地域保健、高齢者保健
10	保険診療について
11	感染症対策
12	食品保健、母子保健、環境保健
13	学校保健、国際保健
14	テストについての説明
15	終講試験

〈評価の方法〉
① 筆記試験
② 授業に使用する質問票

受講上の注意：
生活環境と健康（公衆衛生学・疫学）は他の授業分野と密接に関わっており、国家試験にも頻出されている。ただし、内容は難しく授業だけでは理解できない場合は適宜質問を寄せること。

[使用テキスト・参考文献等]
公衆衛生がみえる　メディックメディア

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　専門基礎分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期・後期
	看護と法規		実務経験有			単位数（時間数）	2（45）

[授業目標]
法の概念及び基本的仕組みを理解する。保健師助産師看護師法の内容を理解し、法的根拠のもとに看護師の業務責任の範囲と義務を明確にする。
医療サービスの供給体制としての医療法の理念及びその内容について理解する。
医療職の一員としての看護職に関係する各種法規について理解する。

[授業内容・授業の流れ]

1	授業のガイダンス・保健師助産師看護師法の目的・定義	
2	保健師助産師看護師法の看護師籍・業務従事者届・業務独占・名称独占	
3	保健師助産師看護師法の守秘義務・看護師などの人材確保の促進に関する法律	
4	看護業務の法的責任と義務・医療過誤	
5	医療法の目的・定義・病院などの管理と人員　診療に関する諸記録	
6	医療関係資格法	
7	医療関係資格法	
8	保健衛生福祉資格法・医療・介護の提供体制に関する法	
9	国民の健康に保持増進・薬事一般・社会保険法に関する法律	
10	地域保健法・精神保健福祉法	
11	母子保健法・母体保護法・学校保健安全法・がん対策基本法・自殺対策基本法・難病の患者に対する医療費に関する法律	
12	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律・予防接種法・検疫法	
13	医薬品、医療機器などの品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律・麻薬および向精神薬取締法毒物及び劇物取締法	
14	健康保険法・高齢者の医療の確保に関する法律・介護保険法	
15	試験（45分）　解説	
16	法の概念Ⅰ（A法の概念　B衛生法）	
17	法の概念Ⅱ（C厚生労働行政のしくみ）、福祉法Ⅰ（A福祉の基盤）	
18	福祉法Ⅱ（B児童分野　C高齢分野）	
19	福祉法Ⅲ（D障害分野）　労働法と社会基盤整備Ⅰ（A労働法）	
20	労働法と社会基盤整備Ⅱ（B社会基盤整備など）環境法Ⅰ（環境保全の基本法）	
21	環境法Ⅱ（B公害防法の法、C自然保護法）	
22	その他	
23	試験45分	

〈評価の方法〉
授業態度・出席状況
試験の結果を総合して評価する

受講上の注意：
積極的に授業に参加し医療や看護に関する法律に関心をもつ

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　専門基礎分野　看護関係法令　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	専門基礎分野	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期・後期
	社会保障制度と福祉		実務経験有			単位数（時間数）	2（30）

＜授業目標＞

1）生活者の視点から社会保障制度と福祉を理解する。

2）社会福祉の分野とサービスの種類を理解し、医療・保険・福祉の連携の重要性と実際を学ぶ。

【授業内容・授業の流れ】

1）テキストを中心に授業を進めます。

2）日々の社会保障制度や福祉に関わる話題を新聞記事等から取り上げ知識を深めてゆきます。

3）看護師国家試験過去問出題傾向チェック

回	月　日		時　間	授　業　内　容
1	5/19	水	9：00～10：30	社会福祉とは何か、看護師と社会福祉
2	5/26	水	9：00～10：30	第1章　社会保障制度と社会福祉
3	6/02	水	9：00～10：30	第2章　現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向
4	6/09	水	9：00～10：30	第3章　医療保障
5	6/16	水	9：00～10：30	第4章　介護保障
6	6/23	水	9：00～10：30	第5章　所得保障
7	6/30	水	9：00～10：30	第5章　所得保障
8	7/07	水	9：00～10：30	第6章　公的扶助
9	7/14	水	9：00～10：30	第6章　公的扶助
10	9/15	水	9：00～10：30	第7章　社会福祉の分野とサービス
11	9/22	水	9：00～10：30	第7章　社会福祉の分野とサービス
12	9/29	水	9：00～10：30	第8章　社会福祉実践と医療・看護
13	10/06	水	9：00～10：30	第9章　社会福祉の歴史
14	10/13	水	9：00～10：30	まとめ
15	10/20	水	9：00～10：30	終講テスト（試験45分+解説）

＜評価の方法＞

・終講テストを基本に、平素の授業態度等、総合的に判断します。

＜受講上の注意＞

・基礎的・基本的な知識習得を狙いとしていますので、授業中の理解と復習を怠らないようにしましょう。

・社会福祉に関わる話題は、私たちの身の周の回りに溢れています。

・日常のテレビや新聞報道に関心を持ち、自分や家庭生活に置き換えて考えてみましょう。

＜使用テキスト・参考文献等＞

・系統看護学講座　専門基礎分野「社会保障・社会福祉」　健康支援と社会保障制度③　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	専門分野Ⅰ	講師	専任教員	授業形態	講義	時　　期	前　期
	看護学概論		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．近代看護の成り立ちについて理解する
2．看護の役割と機能を理解する
3．看護の主要概念（人間・環境・健康・看護）について考える
4．我が国における看護の発展と今後の発展について理解する
5．看護実践における倫理的問題について考える
6．看護の提供の仕組みについて理解する
7．広がる看護の活動領域を理解する

[授業内容･授業の流れ]

回数	内容
1	看護の歴史的変遷について ナイチンゲールの功績から近代看護の成り立ちについて学習する ナイチンゲール以前の看護、ナイチンゲール以降の看護の発展について
2	法律、職能団体、さまざまな理論家による看護のとらえ方について学習する ヘンダーソン・ロイ・オレム・トラベルビー・ペプロウ
3	さまざまな理論家による看護のとらえ方について学習する ヘンダーソン・ロイ・オレム・トラベルビー・ペプロウ
4	看護の役割と機能について学習する 看護ケアについて・看護実践に欠かせない要素
5	看護の役割と機能について学習する 看護の継続性・多職種連携・協働について
6	看護の対象について学習する 人間の心と体を理解する・成長発達しつづける存在として人間を理解する
7	人間の暮らしについて学習 生活者としての人間を理解する。看護の対象としての家族・集団・地域を理解する
8	健康とはなにか　健康をどのようにとられるべきかを理解する 障害とはなにか　障害をどのようにとらえるべきかを理解する
9	国民全体の健康と生活の全体像を、主要な公的統計の結果から把握する
10	我が国の職業としての看護の成立と発展・看護基礎教育と継続教育
11	看護における倫理について
12	医療・看護をめぐる倫理的問題
13	看護提供の仕組みについて理解する
14	チーム医療に携わるさまざまな職種を把握し、チームの機能を理解する
15	筆記試験（45分）・講義のまとめ

〈評価の方法〉	受講上の注意：
出席時間・受講態度 GWの取り組み 筆記試験・レポート出席時間	積極的に授業に参加 グループワーク：積極的に参加する。他者の意見を聞き入れ、自己の考えを論理的に述べる

[使用テキスト･参考文献等]

系統看護学講座　専門分野Ⅰ看護概論　基礎看護学　医学書院
日本看護協会　看護の基本となるもの　ヴァージニア・ヘンダーソン

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅰ］	講師	専任教員	授業形態	講義 演習	時　　期	後期
	看護過程		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．看護過程とは何かを理解する
2．看護過程を展開するための考え方を理解する
3．看護過程の段階を理解する
4．看護診断の基本的知識を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	看護過程とは何か、看護過程を展開する目的 看護過程を展開する基盤となる考え方 　問題解決過程、クリティカルシンキング、倫理的配慮と価値判断、リフレクション
2	看護過程の構成要素、構成要素の関係性 アセスメント（情報収集） 　情報収集とは、看護理論に基づいたアセスメントの枠組み（ゴードン・ヘンダーソン） 　情報収集の方法・手段、情報の種類
3	アセスメント（情報の分析） 情報が持つ意味を考える、知識の活用、理論の活用、情報分析をする力
4 5	全体像 　関連図、全体像とは
6	看護問題の明確化 　看護が取り扱う問題、看護問題の明確化 　看護診断名の意味と種類、関連因子、診断指標
7	看護問題の明確化 　フォーカスアセスメント
8	看護問題の優先順位、プロブレムリスト、医療問題
9	看護計画 　期待される成果の明確化（看護目標）と表し方
10	看護計画 　看護計画の表記・個別性
11	標準看護計画 クリティカルパス
12	評価 　評価をする意味、時期、進め方
13	看護過程における記録の種類
14	看護サマリー
15	筆記試験（45分）・まとめ

〈評価の方法〉
出席状況
筆記試験
演習課題の提出状況

受講上の注意：
・授業、演習などでの私語は慎み、受講する
・積極的に質問をして学びが深まるようにしてください
・課題の提出は、決められた期日に提出すること

[使用テキスト・参考文献等]
基礎看護技術Ⅰ（医学書院）
ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断　（ヌーベルヒロカワ）
NANDA看護診断ハンドブック　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2020年度　（　22期生　2年生　）

授業科目	［　専門分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	看護研究		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]
看護における研究の意義と必要性を理解するとともに、研究の一連のプロセスを学び自ら研究に取り組むための研究的態度を養う

［授業の流れ］

回数	日時（曜日）	時限	授業内容	授業形態
1	5月8日　（金）	3	①　授業計画について②看護研究の意義	講義
2	5月15日（金）	3	①　研究全体の流れについて②研究疑問について	講義
3	5月19日（火）	3	①　文献検索について	講義
4	5月22日（金）	3	①　文献検索の実際②文献検討について	講義
5	5月28日（木）	2	①　研究デザインについて	講義
6	5月29日（金）	3	①　具体的な研究の進め方 ・研究計画の書き方	講義
7	6月3日　（水）	3	・データ収集の仕方	講義
8	6月5日　（金）	3	・データの整理と分析	講義
9	6月12日（金）	3	①　倫理的配慮について ・研究における倫理の考え方と対応	講義
10	6月19日（金）	3	①　具体例で学ぶ研究のポイント ・事例研究のポイント	講義
11	6月26日（金）	3	・観察研究のポイント	講義
12	7月3日　（金）	3	・実験研究のポイント	講義
13	7月10日（金）	3	①　研究成果の発表について ・研究成果の発表の意義 ・効果的なプレゼンテーション	講義
14	7月14日（火）	2	①　研究論文作成について ・論文作成の意義・論文の書き方	講義
15	7月17日（金）	3	試45分＋解説	講義

〈評価の方法〉
筆記試験　　レポート
授業への参加状況など総合的に評価する

受講上の注意

使用テキスト・参考文献等]
JJNスペシャル　看護研究の進め方　論文の書き方　　医学書

授　業　内　容（シラバス）　　2021度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅰ］	講師	専任教員	授業形態	講義実習	時　　期	前期
	基礎看護技術Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	2（75）

【授業目標】

1．看護技術の考え方を理解する
2．あらゆる看護行為における安全・安楽、人権尊重について理解する
3．看護におけるコミュニケーションの基礎的知識を学び、基本的技法を理解する
3．人間（看護の対象）にとっての環境の意味を理解し、環境調整に必要な基礎的知識・技術を習得する
4．人間（看護の対象）にとっての活動・休息することの意義を理解し、活動の援助に必要な基礎的知識・技術を習得する
5．感染予防についての基礎的知識・技術を習得する
6．バイタルサイン・フィジカルイグザミネーションの基礎的知識・技術を習得し、アセスメントについて理解する

【授業内容・授業の流れ】

1	看護技術とは、看護技術を行う看護師に求められる姿勢　　看護技術の特徴	
2	看護技術を適切に実践するための要素　　技術と技能	
3	看護技術の実施に伴う記録とは、記録の目的・留意点・管理・保存	
4	コミュニケーションとは、コミュニケーションの意義、コミュニケーションの種類	
5	コミュニケーションの要素、コミュニケーションを阻害する因子、コミュニケーションの基本アサーティブネス	
6	コミュニケーション障害がある人への対応　　ロールプレイ	
7	環境とは、療養生活における環境、環境が及ぼす影響	
8	病室・病床環境の調整 ベッド周囲の環境、環境の要素（室温・湿度・音・採光・臭気・スペース）	
9	望ましい病室・病床環境 療養環境を整える技術（ベッドメーキング・シーツ交換・環境整備）	
10	ベッドメーキング（学内実習）	
11	ベッドメーキング（学内実習）	
12	シーツ交換（学内実習）	
13	シーツ交換（学内実習）	
14	基本的活動の基礎知識（姿勢・ボディメカニクス）	
15	安楽な姿勢・体位、体位変換　　歩行介助・車椅子・ストレッチャー	
16	睡眠・休息の基礎知識	
17	体位変換・車椅子移乗と移送・ストレッチャー（学内実習）	
18	体位変換・車椅子移乗と移送・ストレッチャー（学内実習）	
19	終講試験	
20	感染とは、標準予防策、衛生学的手洗い	
21	感染予防の基礎知識、洗浄・消毒・滅菌とは	
22	無菌操作、感染性廃棄物の取り扱い、まとめ	
23	衛生学的手洗い・滅菌手袋の装着・ガウンの着脱（学内実習）	
24	衛生学的手洗い・滅菌手袋の装着・ガウンの着脱（学内実習）	

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

25	滅菌操作・滅菌包の取り扱い（学内実習）	詳細は学内実習レジュメを参照のこと
26	滅菌操作・滅菌包の取り扱い（学内実習）	
27	ヘルスアセスメント・フィジカルイグザミネーション・フィジカルアセスメント バイタルサインとは	
28	体温・脈拍・呼吸・血圧について	
29	フィジカルアセスメント（呼吸・循環）について	
30	フィジカルアセスメント（呼吸音・心音の聴取・消化器・意識レベル・対光反射）について	
31	バイタルサインの実際（学内実習）	詳細は学内実習レジュメを参照のこと
32	バイタルサインの実際（学内実習）	
33	フィジカルイグザミネーション・アセスメント（学内実習）	
34	フィジカルイグザミネーション・アセスメント（学内実習）	
35	フィジカルイグザミネーション・アセスメント（学内実習）	
36	フィジカルイグザミネーション・アセスメント（学内実習）	
37	フィジカルイグザミネーションの復習（学内実習）	
38	筆記試験	

〈評価の方法〉
・筆記試験（2回）
①技術とは他、環境、活動と休息
②感染、バイタルサイン、フィジカル
・学内実習取り組みルーブリック
・提出物状況

受講上の注意：
・積極的・主体的に授業に参加する
・予習、復習を怠らない
・グループワークは積極的に参加する
・学内実習には真面目に主体的に取り組む

[使用テキスト･参考文献等]
基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②（医学書院）
基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅰ］	講師	専任教員	授業形態	講義実習	時　　期	前期・後期
	基礎看護技術Ⅱ		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

【授業目標】

1．人間（看護の対象）にとって清潔・衣生活を維持することの意義について理解する
2．清潔・衣生活の援助に必要な基礎的知識・技術を習得する
3．人間（看護の対象）にとって食事をすることの意義について理解する
4．食事の援助に必要な基礎的知識・技術を習得する
5．人間（看護の対象）にとっての排泄の意味を理解する
6．排泄の援助に必要な基礎的知識・技術を習得する

【授業内容･授業の流れ】

1	皮膚の構造と機能、清潔ケアの意義、清潔ケアの種類 入浴（目的・方法・環境・必要物品・留意点と実際）、様々な状態の患者の入浴	
2	全身清拭（目的・方法・環境・必要物品・留意点と実際） 洗髪（目的・方法・環境・必要物品・留意点と実際）	
3	手浴・足浴（目的・方法・環境・必要物品・留意点と実際） 陰部洗浄・口腔ケア（目的・方法・環境・必要物品・留意点と実際）	
4	清拭デモンストレーション	
5	清拭・寝衣交換（学内実習）	
6	清拭・寝衣交換（学内実習）	
7	清拭・寝衣交換（学内実習）	
8	清拭・寝衣交換（学内実習）	
9	洗髪・足浴（学内実習）	
10	洗髪・足浴（学内実習）	
11	洗髪・足浴（学内実習）	
12	洗髪・足浴（学内実習）	
13	筆記試験（45分）	
14	栄養状態・水分、電解質・のアセスメント	
15	摂食能力・食欲に関する評価　嚥下のメカニズム　　医療施設で提供される食事の種類と形態 非経口栄養摂取について　　食事の意義	
16	食事介助（学内実習）	
17	食事介助（学内実習）	
18	経管栄養（学内実習）	
19	排泄とは、排泄の意義、排尿のメカニズム	
20	排便のメカニズム、排尿・排便についてのアセスメント、排尿・排便障害	
21	自然排尿（床上排泄・トイレでの排泄）	
22	導尿（一時的・持続的）、浣腸	

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

23	床上排泄（学内実習）	詳細は学内実習レジュメを参照のこと	
24	床上排泄（学内実習）		
25	グリセリン浣腸（学内実習）		
26	グリセリン浣腸（学内実習）		
27	導尿(学内実習)		
28	導尿（学内実習）		
29	導尿（学内実習）		
30	筆記試験(45 分)		

〈評価の方法〉
・筆記試験（2 回）
①清潔
②食事・排泄
・学内実習取り組みルーブリック
・提出物の状態

受講上の注意：
・予習、復習を怠らない
・演習で学んだ技術は、自主的に練習を行い身につける
・排泄については、解剖学・無菌操作の復習をしておく
1 週間の排泄の観察表を作成する
・私語は慎む

[使用テキスト･参考文献等]
基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②（医学書院）
基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅰ］	講師	専任教員	授業形態	講義実習	時　　期	前期・後期
	基礎看護技術Ⅲ		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

【授業目標】

1．安全に与薬を行うために必要な基礎的知識・技術を習得する
2．安全・正確に検査を行なうために必要な基礎的知識・技術を習得する
3．呼吸・循環を整えるために必要な基礎的知識・技術を習得する
4．心肺蘇生についての基礎的知識・技術を習得する
5．検査・治療を受ける患者の苦痛を理解することができる

【授業内容・授業の流れ】

1	与薬とは、薬物動態、与薬における看護師の役割、薬剤の管理、経口与薬、口腔内与薬	
2	吸入・点眼・点鼻・経皮的与薬、座薬における基本知識	
3	注射法（皮下・皮内・筋肉内・静脈内）における基本知識	
4	注射法（点滴静脈内注射、中心静脈栄養）における基本知識	
5	輸血における基本知識	
6	皮下注射（学内実習）	
7	皮下注射（学内実習）	
8	筋肉内注射（学内実習）	
9	筋肉内注射（学内実習）	
10	静脈内注射（学内実習）	
11	静脈内注射（学内実習）	
12	点滴静脈内注射（学内実習）	
13	点滴静脈内注射（学内実習）	
14	筆記試験（45分）	
15	創傷管理の基礎知識（創傷とは、創傷の治癒過程とそのメカニズム、創傷の種類、再生と瘢痕 感染創）	
16	褥瘡（原因、好発部位、発生予測、褥瘡の分類、評価、援助の実際）	
17	生体モニタリング、診察介助、包帯法	
18	包帯法（学内実習）	
19	検査・処置の介助（放射線防護の原則、X線検査とその介助、穿刺とその介助）	
20	検査・処置の介助（検体検査）	
21	採血（学内実習）	
22	採血（学内実習）	
23	呼吸・循環を整えるとは	
24	酸素吸入療法、吸引（口腔・鼻腔・気管・持続吸引）、吸入、罨法に必要な基礎知識	

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

詳細は学内実習レジュメを参照のこと

25	罨法（学内実習）	詳細は学内実習レジュメを参照のこと	
26	罨法（学内実習）		
27	心肺蘇生（学内実習）		
28	心肺蘇生(学内実習)		
29	吸入・吸引・酸素療法（学内実習）		
30	吸入・吸引・酸素療法（学内実習）		
31	筆記試験（45 分）		

〈評価の方法〉
・筆記試験（2 回）
①与薬
②診療・検査・包帯
・学内実習取り組みルーブリック
・提出物状況

受講上の注意：
・予習、復習を怠らない
・演習で学んだ技術は、自主的に練習を行い身につける
・私語は慎む

[使用テキスト･参考文献等]
基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②（医学書院）
基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅰ］	講師	専任教員	授業形態	講義演習	時　　期	後期
	基礎看護技術Ⅳ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．健康の維持増進を目指す対象の特徴がわかり、必要な看護を理解する
2．急性期・慢性期・リハビリテーション期・終末期の患者・家族の特徴がわかり、必要な看護を理解する
3．健康を支える指導（学習支援）の意義を理解する
4．健康を支える指導（学習支援）技術を理解し、具体的な方法を考える

【授業内容･授業の流れ】

1	健康とは、ヘルスプロモーション（概念、健康行動の変容を説明するモデル） 一時的予防、二次的予防、三次的予防 健康各期の理解 健康保持増進を目指す人への看護（ニード・看護援助）	
2	急性期の特徴・急性期の患者・家族の理解と看護 急性期の患者家族を理解するための概念（ストレスコーピング、危機理論、自己概念）	
3	慢性期の特徴、慢性期の治療の特徴 慢性期の病状から捉えた経過、慢性期の需要の段階	
4	慢性期の患者・家族の理解と看護 アドヒアランスの考え方、慢性期におけるチーム医療の目的	
5	リハビリテーション期の特徴・リハビリテーションの目指すもの（QOL・自立支援・セルフケア含む） リハビリテーション期の患者の看護に必要なチームアプローチ	
6	リハビリレーション看護の専門性 生活機能障害のアセスメント（ICFモデル・ADL・エンパワーメントの概念） リハビリテーション期の患者・家族の理解と看護	
7	終末期の特徴、終末期の患者・家族の理解と看護	
8	看護における学習支援（指導）の意義 看護における（様々な場・健康状態に応じた指導）指導	
9	個人を対象にした学習支援（指導） 指導の前に知っておかなければならない患者情報	
10	集団を対象にした指導 指導の実際を計画する	
11	指導計画（事例を用いて）	
12	指導計画	
13	指導計画	
14	指導計画の実施	
15	筆記試験（45分）・実施した指導の講評・まとめ	

〈評価の方法〉	受講上の注意
筆記試験 課題の提出状況	・積極的・主体的に授業に参加する ・予習・復習を怠らない ・グループワークは積極的に参加する

【使用テキスト・参考文献等】

経過別看護について：臨床看護総論　　基礎看護学④（医学書院）
指導技術について：基礎看護技術Ⅰ　　基礎看護学②（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員	授業形態	講義	時期	後期
	成人看護学Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（15）

【授業目標】

1．成人期のライフサイクルにおける成長発達を理解する
2．成人期保健の動向を理解する
3．成人看護の特徴を理解する
4．成人看護に使用される理論について理解する
5．成人看護における倫理的課題について理解する

【授業内容・授業の流れ】

1	成人期の対象を理解する　　GW：成人期のイメージ 成人期の患者のイメージ （発表も含む）
2	成人看護学の援助論
3	成人保健の動向（人口構成の変化、平均寿命の延長、有訴率の実態、受療率の状況、死亡動向）
4	ライフサイクルの中での成人期の位置づけ 成人各期の特徴と発達課題
5	健康レベルにおける対象の特徴 成人看護における対象使用される理論 （ニード論、ケアリング、ストレス理論、危機理論）
6	成人看護における対象使用される理論 （生体侵襲理論、セルフケア理論、自己効力理論、適応理論、エンパワーメント、健康モデル、アンドラゴシー、家庭看護理論、不確かさ、アドヒアランス、痛みの軌跡、代替・相補療法）
7	成人看護おける倫理 成人期にまつわる今日的課題 看護者の倫理上の意思決定の基準 看護者の倫理綱領
8	筆記試験

〈評価の方法〉	受講上の注意：
出席状況 共同学習の参加状況 筆記試験	・授業、GWには積極的に取り組むこと

[使用テキスト・参考文献等]
成人看護学概論（ヌーベルヒロカワ）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員・外部講師	事業形態	講義	時　期	後期
	成人看護学Ⅱ		実務経験者			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1. 成人期にある人の健康に影響を及ぼす因子を理解し、健康の保持増進、健康上の問題について理解する
2. セルフケア能力を高める援助方法を学び、健やかな老年期を迎えるための健康管理について理解する
3. 成人看護における経過別看護の特徴を理解する
4. 周手術期にある患者の特徴を理解する。
5. 術前・術中・術後の看護（合併症を含む）を理解する。

[授業内容・授業の流れ]

1	1）周手術期・手術療法について（言葉の定義の理解など） 2）周手術期の基本的な流れ・手術室の構造（ME機器・材料など） 3）手術看護に必要な視点・アセスメント能力 4）手術室看護師の役割について（器械だしNS・外回りNSなど） 5）周手術期における医療安全	
2	6）術前の患者対応・術前訪問（意思決定の援助・不安について） 7）術前外来の実際（検査・診察による患者身体の全身評価） 8）手術チームについて	
3	9）術中看護について（手術体位・麻酔の基礎・手術室の薬剤・手術の進行の具体例	
4	10）　術後の一般的な回復過程について（生体反応・ドレーン管理など） 11）　早期離床と術後合併症・合併症予防 12）　まとめ	
5	成人期における健康障害の特徴 （生活習慣・ストレス・感染・アレルギーに関連する健康障害）	
6	成人期における健康障害の特徴 （職業・セクシュアリティ・更年期に関連する健康障害）	
7	一次的予防・二次的予防・三次的予防の現状と課題・対策	
8	健康の定義・ヘルスプロモーションを必要とする対象	
9	治療を必要とする対象、急性期・慢性期・リハビリテーション期にある対象の理解	
10	健康の再構築が必要な対象の理解 （継続看護・患者支援教育・セルフケア・ソーシャルサポート）	
11	ターミナル期の援助を必要としている対象の理解 （定義・対象の特徴・必要な援助）	
12	成人看護におけるヘルスアセメント	
13	継続看護と健康教育（患者・家族・社会資源）	
14	成人看護における急性期看護	
15	筆記試験・まとめ	

〈評価の方法〉 試験 出席状況	受講上の注意： ・授業などでの私語は慎み、受講する ・授業前には、テキストを予習して授業に参加する ・学びが深まるように積極的に質問する
[使用テキスト] 成人看護学　成人看護学概論第２版　ヌーベル・ヒロカワ ［参考文献］ 日本麻酔科学会　周術期管理チームテキスト　第３版 周術期管理ナビゲーション　医学書院 成人看護学　周手術期看護論　ヌーベルヒロカワ ナースのためのやさしくわかる手術看護　ナツメ社　第７刷 周手術期看護ガイドブック　　中央法規　第11刷	

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義	時　期	前期
	成人看護学Ⅲ		実務経験者			単位数（時間数）	１（３０）

[授業目標]

１．救急の場における看護の特徴と役割を理解する
２．救急患者の病態を理解し、アセスメント・判断できる能力を身につける
３．循環機能・脳神経機能・消化機能に障害（主な手術療法を含む）のある対象のアセスメント・回復に向けた看護を理解する
４．視覚・聴覚機能に障害のある対象のアセスメント・回復に向けた看護を理解する

［授業内容・授業の流れ］

1	(1)　救急看護の概念　救急看護の定義・役割・展開 (2)　救急患者の特徴・救急患者家族の特徴 (3)　救急看護を受ける患者の看護　観察とアセスメントの考え方　緊急度と重症度（院内トリアージ	
2	(1)　救急患者のアセスメント・全身と外観、呼吸状態、循環状態のアセスメント (2)　救急患者の主要病態と看護・意識障害、呼吸障害、循環障害、急性腹症、体液代謝異常、外傷、熱傷、中毒	
3	脳卒中の病態と症状に対する看護（意識レベル・麻痺の評価・嚥下障害・高次脳機能障害）	
4	脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血患者の看護	
5	脳内出血患者の看護展開（グループワーク）	
6	消化器系の解剖生理・症状に対する看護	
7	手術療法を受ける患者の看護	
8	胃・食道の手術を受ける患者の看護	
9	大腸の手術を受ける患者の看護　　ストーマケア	
10	肝・胆・膵疾患患者の看護	
11	心疾患患者の看護の基本、虚血性心疾患の看護（循環とはも含む） 心臓カテーテル検査後の看護、	
12	心臓バイパス手術をうける患者の看護	
13	心不全患者の看護、不整脈を有する患者の看護	
14	耳鼻咽喉科の症状に対する看護　検査を受ける患者の看護 難聴、メニエール病患者の看護	
15	眼科患者の症状別看護　　検査・処置の看護　　眼科手術の看護	

〈評価の方法〉
出席状況
筆記試験

受講上の注意：
・授業などでの私語は慎み、受講する
・授業前には、テキストを予習して授業に参加する
・学びが深まるように積極的に質問する

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑬　眼　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑭　耳鼻咽喉　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学③　循環器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑦　脳・神経　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑤　消化器　医学書院
系統看護学講座　別巻　救急看護学　医学書院　「参考」標準救急医学　医学書院

祷　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員・外部講師	事業形態	講義	時　期	前期
	成人看護学Ⅳ		実務経験者			単位数（時間数）	１（３０）

[授業目標]
１．代謝・内分泌機能、運動機能、排泄機能、造血機能に障害がある対象の慢性期・回復期における看護を理解する

［授業内容・授業の流れ］

1	呼吸器系のフィジカルアセスメント、肺疾患看護（肺炎、喘息等）	
2	呼吸器疾患の主な症状のアセスメントと看護（呼吸困難・咳嗽・喀痰・喀血・血痰・胸痛） 慢性閉塞性肺疾患の症状とアセスメント・看護	
3	呼吸器疾患の治療や処置に対する看護 （酸素療法・気管支鏡・手術・胸腔ドレナージ・人工呼吸器・ＮＰＰＶなど）	
4	糖尿病の基礎知識	
5	糖尿病患者の看護（食事・運動・薬物療法）	
6	代謝疾患の看護、脂質異常症・高尿酸血症・副甲状腺機能亢進症の看護	
7	運動器疾患をもつ患者の経過と看護　　援助のための主な知識と技術	
8	運動器疾患の主な検査・保存療法（ギプス・牽引）・手術を受ける患者の看護	
9	運動器疾患の経過（急性期・回復期・慢性期）に応じた患者の看護 疾患をもつ患者の看護	
10	腎・泌尿器疾患における経過と看護、腎・泌尿器疾患における主な検査と看護	
11	内科的療法を受ける患者の看護（治療・処置・疾患・透析療法）	
12	腎・泌尿器科的治療を受ける患者の看護（処置　手術）	
13	血液疾患とは、貧血・出血傾向・白血球減少がある患者の看護	
14	白血病・悪性リンパ腫・造血器腫瘍患者の看護	
15	血液疾患患者の主な検査・放射線療法・薬物療法・輸血療法を受ける患者の看護	

〈評価の方法〉
出席状況
筆記試験

受講上の注意：
・授業などでの私語は慎み、受講する
・授業前には、テキストを予習して授業に参加する
・学びが深まるように積極的に質問する

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学②　呼吸器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑥　内分泌・代謝　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑧　腎・泌尿器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学⑩　運動器　医学書院
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学④　血液・造血器　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2020年度　（22期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	外部講師	授業形態	講義	時　期	後期
	成人看護学Ⅴ		実務経験者			単位数（時間数）	１（３０）

[授業目標]
１．緩和・ターミナル期にある患者の身体的・精神的・社会的な特徴・治療の特徴を理解する
２．緩和・ターミナル期の看護の実際を学ぶ
３．ターミナル期におけるプロセスを学び、対象と家族を支えることの意味・意義を理解する

[授業内容・授業の流れ]

1	がんの病態について がん性疼痛とは（薬物療法含む）	
2	がん患者の療育支援	
3	がん治療に対する看護	
4	化学療法を受ける患者の看護	
5	緩和ケアの概論 （歴史・奈良県の取り組み・緩和ケアの実際）	
6	がんの３大治療について	
7	がんの症状について（身体症状：がん性疼痛、倦怠感、呼吸困難）	
8	がんの症状について（精神症状：適応障害、せん妄）	
9	ターミナル期の看護	
10	ターミナル期の看護	
11	ターミナル期の看護（グループワーク）	
12	ターミナル期の看護（グループワーク発表）	
13	緩和ケア（呼吸困難のまねじめんと、鎮静に関するガイドライン、倦怠感）	
14	緩和ケア（消化器症状） がん患者の家族の家族への支援（心理的も含めて）	
15	緩和ケア（浮腫、精神症状）	

〈評価の方法〉
出席状況
筆記試験

受講上の注意：
・解剖生理や疾患については、受講すみであるため、理解しているものとして進めていくので、復習しておく
・授業などでの私語は慎み、受講する
・授業前には、テキストを予習して授業に参加する
・学びが深まるように積極的に質問する

[使用テキスト・参考文献等]
成人看護学　緩和・ターミナル看護論　　ヌーベルヒロカワ
系統看護学講座　別巻　がん看護学　医学書院

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員	授業形態	講義演習	時　　期	後期
	成人看護学Ⅵ		実務経験有			単位数（時間数）	1　(15)

【授業目標】

成人期における看護過程の展開を学ぶ

【授業内容・授業の流れ】

1	成人看護学における看護過程の展開について理解できる （成人期の特徴を生かした看護過程の考え方、特徴）事例紹介
2	事例の基本情報・健康障害・心理・社会的情報を、情報整理シートに整理できる （ゴードンの機能的健康パターン）
3	整理された情報を分析し、情報の関連性を考える（関連図） （データベースアセスメント、関連図）
4	対象者の全体像を把握し、顕在する看護問題や潜在する看護問題が抽出できる （フォーカスアセスメント、看護上の問題の明確化：NANDA看護診断）
5	看護問題の優先順位を考えることができる （プロブレムリスト）
6	成人期の看護の特徴を踏まえ、看護目標を設定することができる （長期目標・短期目標）
7	成人期の対象の特徴を理解し、対象者に応じた看護計画を立案することができる （O-P、T-P、E-Pを5W1Hで記入できる）
8	まとめ・課題の提出

〈評価の方法〉

出席状況

課題・提出物の提出状況

受講上の注意：

・事例の解剖生理、病態生理、標準看護について学習する

・指定された提出日に課題・提出物を提出する（期限を守る）

・提出物に記載されたコメントについて、適宜見直し修正する

・必要に応じ授業中個人指導を行う。積極的に質問するなど、主体的に課題に取り組む

[使用テキスト・参考文献等]

成人看護学概論（NOUVELLE　HIROKAWA）

ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断（ヌーベルヒロカワ）

NANDA－I看護診断　定義と分類（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員	授業形態	講義	時　　期	後期
	老年看護学Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．高齢者の身体的・心理的・社会的特徴を理解する
2．高齢者のライフスタイル・生活について理解する
3．高齢者を取り巻く社会との関係性や社会システムについて考える
4．健やかに老いる高齢者の多様性について考える
5．生理的機能低下について理解する

【授業内容・授業の流れ】

1	老年看護とは（成り立ち、定義） 老いるということ（高齢者の定義、発達理論・発達課題）
2	高齢者における生理的機能低下を理解する 高齢者疑似体験
3	高齢者における生理的機能低下を理解する 高齢者疑似体験つづき　　課題レポート：高齢者疑似体験からの学び
4	高齢者における生理的機能低下を理解する DVDの視聴：おばあちゃんの家　　課題レポート：DVDを視聴して気付いたこと・考えたこと
5	超高齢社会の現況 高齢化率、高齢者と家族、高齢者の健康状態高齢者の死因、高齢者の暮らし
6	高齢社会における保健医療福祉の動向 保健医療福祉制度の変遷 高齢者医療のしくみ
7	高齢者の権利擁護 エイジズム、アドボカシー、高齢者虐待防止法の目的 高齢者虐待（定義、実態、種類、発生要因、予防）
8	高齢者の権利擁護 身体拘束（定義、例外3原則） 権利擁護のための制度（成年後見制度、日常生活自立支援事業）
9	高齢者の身体的な加齢変化とアセスメント
10	高齢者の身体的な加齢変化とアセスメント　　各グループで調べ学習をして発表
11	高齢者の身体的な加齢変化とアセスメント
12	老年看護の役割と特徴 老年看護における理論、概念
13	課題：高齢者に対する生活史の聞き取り　　課題をもとにGWをして学びを共有する
14	GWの発表
15	筆記試験（45分）・まとめ

〈評価の方法〉
出席状況
課題（ルーブリックに基づいて）
演習・GWの参加状況
筆記試験

受講上の注意：
・高齢者疑似体験、GWに積極的に参加し、自分の意見を発言する
・授業、演習などでの私語は慎み、受講する

[使用テキスト・参考文献等]
老年看護学（医学書院）　　老年看護　　病態・疾病論（医学書院）
国民衛生の動向　厚生労働統計協会

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［ 専門分野Ⅱ ］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義 演習	時　　期	前期
	老年看護学Ⅱ		実務経験有			単位数（時間数）	2 （45）

【授業目標】

1．加齢による生理的機能の低下が理解できる
2．高齢者の健康状態を総合的にアセスメントができる
3．高齢者の特徴を踏まえてエンパワーメントの視点を持ってアセスメントができる
4．高齢者の疾患の特徴及び疾患の症状に対する看護が理解できる
5．高齢者の生活を支えるための看護援助が習得できる

【授業内容・授業の流れ】

1	高齢者の日常生活を支える基本動作と看護ケア 高齢者の睡眠の特徴、生活リズムのアセスメントと看護ケア	
2	高齢者の食事と看護ケア、摂食・嚥下障害のアセスメント	
3	高齢者の排泄のアセスメントと看護ケア、排泄障害とその特徴 高齢者の清潔のアセスメントと看護ケア	
4	高齢者のコミュニケーションと看護ケア、高齢者とのコミュニケーションの方法	
5	演習：高齢者に実施する陰部洗浄・口腔ケアの方法を考える：GW	
6	演習：おむつを使用した陰部洗浄・おむつ交換	
7	演習：口腔ケア、義歯の取り扱い	
8	心不全　脳卒中　パーキンソン　インフルエンザ	
9	肺炎　骨粗鬆症　骨折	
10	検査を受ける高齢者の看護　薬物療法を受ける高齢者の看護	
11	手術を受ける高齢者の看護　リハビリテーションを受ける高齢者の看護	
12	入院治療を受ける高齢者の看護	
13	エンドオブライフケア	
14	保健医療福祉施設および居住施設における看護	
15	治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護	
16	高齢者と医療安全	
17	老年症候群	
18	高齢者の健康状態の把握と総合機能評価	
19	高齢者の疾患の特徴	
20	うつ、せん妄の基礎知識と看護、認知症の基礎知識	
21	認知症高齢者の看護	
22	認知高齢者の看護：グループワーク	
23	筆記試験（45分）・まとめ	

〈評価の方法〉
出席状況
筆記試験
演習態度・記録はルーブリック評価

受講上の注意：
・授業、演習などでの私語は慎み、受講する
・積極的に質問をして学びが深まるようにしてください
・演習は実習室で行います
・大野先生はOHP使用です

[使用テキスト・参考文献等]
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　（医学書院）
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護　病態・疾患論　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員	授業形態	講義 演習	時　　期	後期
	老年看護学Ⅲ		実務経験有			単位数（時間数）	1　(15)

【授業目標】
老年看護における看護過程の展開を学ぶ

[授業内容･授業の流れ]

1	老年看護における看護過程の展開について理解できる （高齢者の特徴を生かした看護過程の考え方、特徴について）事例紹介
2	事例の基本情報・健康障害・心理・社会的情報を、情報整理シートに整理できる （ゴードンの機能的健康パターン）
3	整理された情報を分析し、情報の関連性を考える（関連図） （データベースアセスメント、関連図）
4	対象者の全体像を把握し、顕在する看護問題や潜在する看護問題が抽出できる （フォーカスアセスメント、看護上の問題の明確化：NANDA看護診断）
5	看護問題の優先順位を考えることができる （プロブレムリスト）
6	老年看護の特徴を踏まえ、看護目標を設定することができる （長期目標・短期目標）
7	老年期の対象の特徴を理解し、対象者に応じた看護計画を立案することができる （O-P、T-P、E-Pを5W1Hで記入できる）
8	まとめ・課題の提出

〈評価の方法〉
出席状況
課題・提出物の提出状況

受講上の注意：
・解剖生理、病態生理、標準看護について学習する
・指定された提出日に課題・提出物を提出する（期限を守る）
・提出物に記載されたコメントについて、適宜見直し修正する
・必要に応じ授業中個人指導を行う。積極的に質問するなど、主体的に課題に取り組む

[使用テキスト･参考文献等]
老年看護学（医学書院）　　老年看護　　病態・疾病論（医学書院）
ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断（ヌーベルヒロカワ）
ＮＡＮＤＡ－Ⅰ看護診断　定義と分類（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［専門分野Ⅱ］	講師	外部講師	授業形態	講義実習	時　　期	後期
	小児看護学Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

1．小児看護の理念と特性を理解する
2．小児看護における倫理と実践を理解する
3．子どもの成長・発達を理解する
4．子どもと家族を取り巻く社会を理解する

【授業内容・授業の流れ】

1	小児看護学科目構成　内容・小児看護の特徴と理念・小児看護の対象・小児を取り巻く社会環境		
2	小児看護の目標を理解・小児看護の役割を理解　家族の位置づけ・家族の特徴		
3	小児に関する諸統計から子どもを理解・子どもの事故と安全教育		
4	社会背景と小児看護の変遷・課題　　児童観　専門分化・小児看護における倫理		
5	子どもの権利と看護行為・小児看護で用いられる理論		
6	子どもの成長発達・成長発達の一般的原則　・成長　発達の評価		
7	子どもの栄養、発達段階別の子どもの栄養と特徴、離乳食　食育		
8	乳児期の成長発達の特徴と養育および看護	（自己学習ノート）又は（グループワーク）	
9	幼児期の成長発達の特徴と養育および看護		
10	学童期の成長発達の特徴と養育および看護		
11	思春期の成長発達の特徴と養育および看護		
12	遊びの意義と発達　学習への支援　　家族の特徴とアセスメントの視点		
13	子どもが健やかに育つための施策　児童福祉法　母子保健法　予防接種法　学校保健安全法		
14	子どもの虐待と看護		
15	筆記試験(４５分)・解説		

＜評価の方法＞

授業態度・出席状況・試験の結果を統合して評価する

受講上の注意：

① 授業前に教科書を読んで参加する
② 子どもに関する商品やおもちゃ等に関心をもち、子どもの成長発達と関連して理解を深める
③ 小児看護に関する雑誌や本を読み理解を深める
④ 小児に関する新聞記事や報道から、子どもを取り巻く社会の状況を理解する
⑤ 次世代を担う子どもを育成する一員であることを自覚する

【使用テキスト・参考文献等】

系統看護学講座　　小児看護概論　　（医学書院）
系統看護学講座　　小児臨床看護総論　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義実習	時　　期	前期・後期
	小児看護学Ⅱ		実務経験者			単位数（時間数）	2（60）

【授業目標】

1．　健康障害を持つ子どもの看護ケアを理解する（経過別・主要疾患別・治療処置別）
2．健康障害および入院が子どもと親・家族に及ぼす影響を理解する
3．子どもの安全安楽を守るために必要な看護管理が理解できる
4．健康障害を持つ子どもに必要な援助の意義と方法が理解できる
5．各身体機能の概念とその機能障害の機序及び病態生理が理解できる

【授業内容・授業の流れ】

1	小児看護の目標・役割、家族の位置づけと考え方、子どもの病期・入院の影響	
2	子どもの病気の受け止め方と理解、入院中の家族の看護、入院環境、CLS、HPS	
3	外来における子どもと家族の看護「外来環境、対象理解）	
4	在宅療養の子どもの看護、プレパレーション（目的と実際）、遊び	
5	慢性期にある子どもと家族の看護（糖尿病）	
6	急性期にある子どもと家族の看護（気管支喘息）	
7	周術期にある子どもと家族の看護（陰嚢水腫）	
8	終末期にある子どもと家族の看護（骨腫瘍）	
9	症状を示す子どもの看護（不機嫌、啼泣、痛み、発熱）	
10	症状を示す子どもの看護（嘔吐、下痢、脱水）	
11	症状を示す子どもの看護（呼吸困難、けいれん、発疹）	
12	子どものアセスメント、コミュニケーション技術、バイタルサインの測定	
13	プレパレーション・バイタルサイン・身体計測（学内実習）	
14	学内実習の振り返り	
15	筆記試験（45分）、解説	
16	内分泌疾患をもつ子どもの看護	
17	免疫・アレルギー疾患をもつ子どもの看護、感染症をもつ子どもの看護	
18	呼吸器疾患の子どもの看護	

19	消化器疾患をもつ子どもの看護	
20	腎・泌尿器疾患をもつ子どもの看護、皮膚疾患をもつ子どもの看護	
21	耳鼻咽喉疾患をもつ子どもの看護	
22	消化器疾患と看護	
23	代謝性疾患・運動器疾患、事故・外傷と看護	
24	血液・造血器疾患、悪性新生物と看護	
25	神経疾患と看護	
26	循環器疾患と看護	
27	プレパレーション作案・発表	
28	低出征体重児の特徴 NICU 看護の原則に基づいた看護について（感染・保温・栄養）	
29	NICU 看護の原則に基づいた看護について（安静、親子関係の確立） 新生児及び高ビリルビン血症の看護	
30	特別支援教育の現状 特別な支援を必要とする子どもの姿 支援者が大切にすべき配慮事項	

〈評価の方法〉 筆記試験	受講上の注意： 特になし

[使用テキスト・参考文献等]

系統看護学講座　　小児看護概論　　（医学書院）

系統看護学講座　　小児臨床看護総論　　（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］ 小児看護学Ⅲ	講師	専任教員 実務経験者	授業形態	講義 演習	時　期 単位数（時間数）	後期 1（15）

【授業目標】
小児看護における看護過程の展開を学ぶ

[授業内容・授業の流れ]

1	小児看護における看護過程の展開について理解できる （子どもの特徴を生かした看護過程の考え方、特徴について）事例紹介
2	事例の基本情報・健康障害・心理・社会的情報を、情報整理シートに整理できる （ゴードンの機能的健康パターン）
3	整理された情報を分析し、情報の関連性を考える（関連図） （データベースアセスメント、関連図）
4	対象者の全体像を把握し、顕在する看護問題や潜在する看護問題が抽出できる （フォーカスアセスメント、看護上の問題の明確化：NANDA看護診断）
5	看護問題の優先順位を考えることができる （プロブレムリスト）
6	小児看護の特徴を踏まえ、看護目標を設定することができる （長期目標・短期目標）
7	乳幼児期の対象の特徴を理解し、対象者に応じた看護計画を立案することができる （O-P、T-P、E-Pを5W1Hで記入できる）
8	まとめ・課題の提出

〈評価の方法〉
出席状況
課題・提出物の提出状況

受講上の注意：
・解剖生理、病態生理、標準看護について学習する
・指定された提出日に課題・提出物を提出する（期限を守る）
・提出物に記載されたコメントについて、適宜見直し修正する
・必要に応じ授業中個人指導を行う。積極的に質問するなど、主体的に課題に取り組む

[使用テキスト・参考文献等]
小児看護学概論・小児臨床看護総論（医学書院）　　小児臨床看護各論（医学書院）
ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断（ヌーベルヒロカワ）
ＮＡＮＤＡ－Ｉ看護診断　定義と分類（医学書院）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（24期生　1年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員	授業形態	講義	時　　期	後期
	母性看護学Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

【授業目標】

母性看護の対象（ライフサイクル各期）について理解する
母性看護の概念と必要な理論を理解する
母性の健康と社会の動向を理解する
現代社会における母性保健をめぐる課題を理解する
母性看護における倫理的態度を理解する

【授業内容】

1	母性とは（母性・父性・親性について、親役割の獲得、）
2	母性看護とは 母性看護の概念、母性看護の目的と重要な視点、母性看護に関わる職種と役割 母性看護の場と特徴、母性看護・周産期に関する医療体制
3	母性看護における主要な理論と概念 母性論、親子の結びつき理論・母子相互作用、母性看護における主要な概念
4	母性保健について 母子保健に係る人口動態統計、母子の健康に関わる法律・制度の変遷 母子保健施策
5	母子と家族の発達 家族の機能・母子関係における家族の変化・家族の発達と課題
6 7	思春期の成長・発達と健康問題 身体・心理・社会的成長・発達、思春期のヘルスプロモーション 思春期の健康問題と看護
8	成熟期の成長・発達と健康問題 身体・心理・社会的成長・発達、成熟期のヘルスプロモーション 成熟期の健康問題と看護
9	更年期の成長・発達と健康問題 身体・心理・社会的成長・発達、成熟期のヘルスプロモーション 成熟期の健康問題と看護 老年期の成長・発達と健康問題 身体・心理・社会的成長・発達、成熟期のヘルスプロモーション 成熟期の健康問題と看護
10	リプロセルヘルス・ライツにおける概念と動向 リプロセルヘルス・ライツに関する課題（社会的課題・倫理的課題・医学的課題）
11 12	リプロダクティブヘルス・ライツに関する看護の実際 性感染症と予防、受胎調節と家族計画 人工妊娠中絶と看護、ドメスティックバイオレンスと看護
13	性暴力被害者と看護、児童虐待と看護
14	セクシュアリティ セクシュアリティの定義・要素・性の多様性・LGBTの人々の現状

15	筆記試験・解説

〈評価の方法〉 筆記試験 提出物 授業態度	受講上の注意： 1．テキストは、母性看護学①と母性看護学②を持参する 2．提出物は、提出時間に遅れた場合や内容が不足している場合などは減点とする。 3．グループワークでは積極的に臨んでいない場合は減点とする

[使用テキスト・参考文献等]

・母性看護学①　母性看護学概論　ウィメンズヘルスと看護　（メヂカルフレンド社）

・母性看護学②　マタニティサイクルにおける母子の健康と看護　（メヂカルフレンド社）

・国民衛生の動向

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生）

授業科目	［　専門分野Ⅱ］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義 実習	時　　期	前期・後期
	母性看護学Ⅱ		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

【授業目標】

1．　母性各期の経過と看護について理解できる
2．　新生児の胎外生活適応のための経過と看護について理解できる
3．　妊・産・褥婦・新生児のハイリスク状態と主な治療と看護について理解できる

【授業内容・授業の流れ】

1	妊娠期における母子の看護		
2	妊娠期における母子の看護	妊娠期の身体のしくみ（妊娠悪阻を含む）	
3	妊娠期における母子の看護	妊娠期における母子の看護 1）アセスメント	
4	妊娠期における母子の看護	2）母子の健康を保つための看護 3）心理社会的な変化	
5	妊娠期における母子の看護		
6	妊娠期における母子の看護		
7	分娩期における母子の看護、	分娩期の身体のしくみ（無痛分娩、陣痛異常、胎便吸引症候群を含む）	
8	分娩期における母子の看護、	分娩期における母子の看護 1）アセスメント	
9	分娩期における母子の看護 妊娠期・分娩期のまとめ	2）母子の健康を保つための看護 3）心理社会的な変化	
10	母性のイメージ、生命の始まり		
11	母親に起こる心の病理とその変化 （マタニティサイクル・気分障害・産褥精神症）		
12	出生前診断 健康問題のある妊産婦のケア		
13	分娩異常・産後処置と看護		
14	健康問題のある妊婦・褥婦のケア 帝王切開児、ハイリスクベビー		
15	筆記試験（正常妊娠・正常分娩、宮本先生の講義範囲）・解説		
16	分娩期における母子の看護 産褥期・育児期における母子の看護	産褥期の身体のしくみ（尿路感染、	
17	産褥期・育児期における母子の看護	排尿障害、乳房の異常を含む） 産褥期・育児期における母子の看護	
18	産褥期・育児期における母子の看護	1）アセスメント 2）母子の健康を促す看護 3）心理社会的な変化	

【授業内容・授業の流れ】

19	新生児における看護	新生児の身体のしくみ（新生児メレナを含む）	
20	新生児における看護	新生児の看護	
21	新生児における看護	1）母親および家族の健康状態と関連するリスク	
22	新生児における看護	2）出生直後から生後 24 時間以内（移行期）の看護ケア	
23	新生児における看護	3）移行期（生後 24 時間）を過ぎてからの看護ケア	
24	新生児における看護 家族の変化		
25	産褥期・新生児期のまとめ		
26	産褥期・新生児期のまとめ		
27	アプガースコアの採点・諸計測	学内実習	
28	沐浴・臍処置・オムツ交換		
29	沐浴・臍処置・オムツ交換		
30	筆記試験・解説		

〈評価の方法〉

宮本：筆記試験
出席状況
授業への参加態度
課題　　レポート提出

受講上の注意：

特になし

[使用テキスト・参考文献等]

母性看護学概論　ウィメンズヘルスと看護（メヂカルフレンド社）
マタニティサイクルにおける母子の健康と看護（メヂカルフレンド社）

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護（メヂカルフレンド社）
系統看護学講座　成人看護学９　女性生殖器（医学書院）

授 業 内 容（シ ラ バ ス ）　　2021年度　（23期生 2年生）

授業科目	〔専門分野Ⅱ〕	講師名	専任教員	授業形態	講義 演習	時　期	後期
	母性看護学Ⅲ		実務経験有			単位数(時間数)	1(15)

【授業目標】
母性看護学における看護過程の展開を学ぶ

【授業内容・授業の流れ】

1	母性看護学における看護過程の展開について 母性看護学の特徴(復習) 母性看護学の特徴を理解した看護過程の展開について 事例紹介
2	事例の基本情報・健康障害・心理・社会的情報を、情報整理シートに整理 (プロフィール、ゴードンの機能的健康パターン)
3	整理された情報の分析と、情報の関連性を考える (データベースアセスメント、関連図)
4・5	対象者の全体像の把握、顕在する看護問題またはウエルネスの視点の抽出 (考えられる分娩期・産褥期への影響、看護上の問題またはウエルネスの視点の明確化) 看護問題またはウエルネスの視点の優先順位を考える (健康問題、ウエルネスの視点)
6・7	母性看護学の特徴を踏まえた看護目標の設定 (長期目標・短期目標) マタニティサイクルの特徴を踏まえた看護計画の立案 (O－P、T－P、E－Pを5W1Hで記載)
8	終講試験・まとめ・課題の提出

〈評価の方法〉	受講上の注意：
終講試験 提出物 授業中の態度	・事前に母性看護学に関する解剖生理、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の復習をしておく ・事前に産褥期の標準的な看護計画を調べておく ・提出物は、期限を守り、指定された内容で提出する ・主体的に取り組む

〔使用テキスト・参考文献など〕
母性看護学概論　ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社)
マタニティサイクルにおける母性の健康と看護(メヂカルフレンド社)
ゴードンの機能的パターンに基づく看護過程と看護診断(ヌーベルヒロカワ)

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［専門分野Ⅱ］	講師	外部講師	授業形態	講義演習	時　　期	後期
	精神看護学Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1(30)

[授業目標]

1．精神医療看護の歴史が理解できる
2．精神看護の対象が理解できる
3．精神看護の機能と役割・精神保健医療の動向について理解できる
4．人間の心の発達と心の健康に関連する要因、心の健康を維持増進するための必要な知識・技術が理解できる

[授業内容・授業の流れ]

1	科目オリエンテーション 精神看護の目的と意義・我が国における精神科医療の現状と課題 精神看護学が展開される場を理解する～精神科ってどんなところ
2	精神看護学が展開される場を理解する～精神科ってどんなところ
3	精神機能とセルフケア 心の構造と働き　S.フロイトの精神力動論に基づいて
4	不安と防衛機制
5	ライフサイクルと心の発達　エリクソンの漸成的発達図式について
6	ストレス・危機理論の概要　具体的な危機介入の方法について
7	家族と精神保健　樹形図の書き方　家族システム論について
8	集団力動論　クラスでグループダイナミクスを体感する
9	精神保健福祉医療の沿革・歴史①　グループワーク
10	精神保健福祉医療の沿革・歴史②　グループワークと発表
11	精神医療・看護と倫理　倫理的問題についての事例検討を含む
12	精神保健と関係法規　精神保健福祉法
13	精神保健と関係法規　障害者総合支援法ほか 地域精神医療保健　地域で生活する精神障害者の実際
14	リエゾン精神看護とナースのメンタルヘルス・まとめ
15	筆記試験（45分）、解説

〈評価の方法〉	受講上の注意：
筆記試験	特になし

[使用テキスト]

新体系　看護学全書　精神看護学①　精神看護学概論　精神保健　　メヂカルフレンド社

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　統合分野　］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義GW	時　　期	後期
	在宅看護論Ⅰ		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目的]
地域で生活する人々と家族を理解し、地域における看護活動を理解する
［授業目標］
1．地域看護・産業看護の特性について理解できる
2．在宅看護の変遷やその社会背景について理解できる
3．在宅看護の基盤となる基本理念について理解できる
4．在宅看護の対象者と家族について理解できる
5．地域包括ケアシステムにおける在宅看護が理解できる
6．在宅療養を支える制度と社会資源について理解できる
7．在宅療養を支える看護について理解できる

[授業内容・授業の流れ]

1	公衆衛生看護学とは・・予防を重視した看護活動	
2	保健師による公衆衛生看護活動　住民の保健活動を変える支援	
3	職域における地域看護活動　　産業保健について	
4	産業保健の根拠となる法律　　トータルヘルスプロモーション	
5	日本の在宅看護の変遷と社会背景 在宅看護の特徴と役割・機能	
6	在宅看護の基盤となる基本理念	
7	在宅看護の対象者の特徴、在宅療養成立の要件 在宅療養者への看護活動	
8	日本における家族の特徴、家族に関する基礎理論 在宅看護における家族の支援	
9	地域包括ケアシステムについての概要と看護者の役割	
10	社会資源の活用、医療保険制度、後期高齢者医療制度	
11	介護保険制度、生活保護制度	
12	障害者に関する法律、子どもの在宅療養を支える制度と社会資源	
13	訪問看護の目的、制度、実施機関、法的責任、訪問看護師の役割 訪問看護ステーションの設置と管理運営	
14	訪問看護サービスの実践と展開（家庭訪問・初回訪問） 訪問看護の記録、訪問看護における看護過程の特徴	
15	終講試験　　まとめ	

「評価の方法」	受講上の注意：
終講試験 出席状況、受講態度 GW参加状況　　提出物	積極的に授業に参加する

[使用テキスト・参考文献等]
ナーシンググラフィカ　　地域療養を支えるケア　メディカ出版
公衆衛生看護学　　インターメディカル
国民衛生の動向

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（23期生　2年生　）

授業科目	［　統合分野　］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義 GW 演習	時　　期	前期・後期
	在宅看護論Ⅱ		実務経験有			単位数（時間数）	2（60）

[授業目的]
　在宅療養者と家族を支える看護の実際が理解できる
【授業目標】
1．在宅看護における安全と健康危機管理について理解できる
2．在宅における援助技術について習得できる
3．対象に応じた在宅看護が理解できる
4．在宅看護における看護過程について、演習を通して理解できる

[授業内容・授業の流れ]

回数	授業内容	
1	日常生活における安全管理　災害時における療養者と家族の健康危機管理	
2	日常生活における安全管理　災害時における療養者と家族の健康危機管理	
3	日常生活を支える技術①（食の援助）	
4	日常生活を支える技術②（排泄の援助）	
5	日常生活を支える技術③（移動の援助）	
6	日常生活を支える技術④（清潔の援助）	
7	在宅における医療的ケアの援助技術①（服薬管理）	
8	在宅における医療的ケアの援助技術②（在宅酸素療法）	
9	在宅における医療的ケアの援助技術③（在宅人工呼吸器療法・褥瘡予防）	
10	在宅における医療的ケアの援助技術④（膀胱留置カテーテル・ストーマ）	
11	在宅における医療的ケアの援助技術⑤(在宅経管栄養法)	
12	在宅における医療的ケアの援助技術⑥（在宅中心静脈栄養法）	
13	日常生活を支える技術⑤（清潔ケア実習）	
14	日常生活を支える技術⑥（清潔ケア実習）	
15	在宅における援助技術・医療的ケア技術（筆記試験）	
16	事例１）在宅での生活を希望する脳卒中後遺症のある高齢者	
17	事例２）非虐待が疑われる認知症高齢者	
18	事例３）在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者	
19	事例４）最期まで自宅で過ごしたいターミナル期のがん療養者	
20	事例５）事故により中途障害者となった成人男性	
21	事例６）在宅での生活を希望する精神障害者	
22	事例７）重度心身障害をもちながら地域で生活をする小児	
23	在宅における看護過程の考え方と展開について	
24	事例について情報の整理	
25	情報の分析・関連図・課題の抽出・計画立案	
26	情報の分析・関連図・課題の抽出・計画立案	
27	援助計画発表	
28	訪問看護演習	
29	訪問看護演習	
30	終講試験　まとめ	

〈評価の方法〉	受講上の注意：
終講試験、出席状況、受講態度、GW参加状況、提出物	積極的に授業に参加する

[使用テキスト・参考文献等]
メディカ出版：ナーシング・グラフフィカ　地域療養を支えるケア
（参考）宇都宮宏子（編）退院支援ガイドブック「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる　学研ﾌﾟﾗｽ
（参考）高齢者在宅医療・介護サービスガイドライン 2019　日本老年医学会
（参考）医療福祉総合ガイドブック 2019 年度版　NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会
（参考）これならわかる（スッキリ図解）障害者総合支援法　第 2 版　翔泳社
（参考）在宅看護過程　関連図で理解する　第 2 版　メヂカルフレンド社

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　24期生　1年生　）

授業科目	［　統合分野　］	講師	専任教員・外部講師	授業形態	講義演習	時　　期	後期
	医療安全		実務経験有			単位数（時間数）	1（30）

[授業目標]

1．医療安全に関心が持て、医療安全を学ぶ意義が理解できる
2．事故防止の考え方・取り組みが理解できる
3．看護場面に多い事故がわかる
4．事故発生時の対応が理解できる

[授業内容・授業の流れ]

1	医療安全とは、医療安全の歴史、リスク感性、安全文化	
2	医療安全施策（国）	
3	医療事故発生のメカニズム、人間の特性・社会的特性	
4	医療安全施策（施設）	
5	医療事故（誤薬・患者間違い、転倒・転落、誤嚥、針刺し医療機器他）	
6	医療事故分析	
7	医療事故分析	
8	ＫＹＴ	
9	事故発生時の対応	
10	看護学生と医療事故	
11	看護の現場に多い事故	
12	看護の現場に多い事故	
13	看護の現場におけるリスクマネージメントの実際	
14	院内感染対策	
15	まとめ、筆記試験（45分）	

〈評価の方法〉
筆記試験

受講上の注意：
予習・復習を怠らないこと
演習には主体的に参加すること

[使用テキスト・参考文献等]
ナーシング・グラフィカ　　看護の統合と実践②　　医療安全　　（メディカ出版）

授　業　内　容（シラバス）　　2021年度　（　23期生　2年生　）

授業科目	［　統合分野　］	講師	外部講師	授業形態	講義演習	時　　期	前期・後期
	災害看護		実務経験有			単位数（時間数）	2（30）

[授業目標]

1．災害看護の概要について理解する
2．災害医療の基本について習得する
3．災害発生時の対応及び体制について理解する
4．災害各期の医療・看護活動について理解する
5．防災・減災への関心を深めることができる

[授業内容・授業の流れ]

1	災害の定義　災害の種類　わが国の過去の災害について	
2	災害看護について　救急医療と災害医療の違い　災害発生時対応および体制について	
3	災害サイクル（超急性期　急性期）	
4	トリアージ演習	
5	我が国の災害医療体制について	
6	災害サイクル（要急性期～慢性期）	
7	災害関連死　　避難所　仮説住宅での看護	
8	心のケア　災害と法律	
9	災害支援活動の実際	
10	災害サイクル（慢性期以降の看護活動）防災　減災への取り組み	
11	国際看護の必要性と課題　国際保健の変遷と取り組み	
12	発展途上国の健康課題と、その背景にある社会と文化・食生活	
13	保健医療分野における国際医療機関と日本の国際協力の現状	
14	災害医療	
15	まとめ、筆記試験（45分）	

〈評価の方法〉
出席時間・受講態度
GW・演習の取り組み
筆記試験

受講上の注意：
積極的に授業に参加すること
GW・演習で積極的に意見交換して下さい

[使用テキスト・参考文献等]
看護の統合と実践　　災害看護学・国際看護学：医学書院
（参考）新体系看護全書　看護の統合と実践②　災害看護学　（メヂカルフレンド社）